



浜松市モビリティサービス推進 コンソーシアム

令和3年度第5回会議



令和4年3月16日（水） 13:30～14:30



次 第

- 1 開会
- 2 共同幹事挨拶
- 3 会員の状況
- 4 会員のモビリティ関連プロジェクトについて
- 5 アイデアピッチ開催報告
- 6 令和4年度 of 取組予定
- 7 意見交換
- 8 閉会

2 共同幹事挨拶



- 浜松市
デジタル・スマートシティ推進事業本部長 内藤 伸二郎
- 遠州鉄道(株)
取締役 野村 和徳
- スズキ(株)
次世代モビリティサービス本部 CJP推進部 グループ長 藤谷 旬生

3 会員の状況

- 一般会員88団体（令和4年3月16日時点）。
- R 3 第4回会議（令和3年12月23日）時点の83団体から、一般会員5団体が新規会員に。

No.	法人・団体名
1	Carstay株式会社
2	ZERO connects合同会社
3	株式会社日本旅行 浜松支店
4	株式会社フリーエ
5	ロハナス株式会社

※50音順

4 会員のモビリティ関連プロジェクトについて

浜松市内で実施している（又は実施予定）モビリティ関連のプロジェクト

■プロジェクト名称

山間地の電力設備の巡視点検を目的としたドローンの目視外飛行実証実験

■実施団体

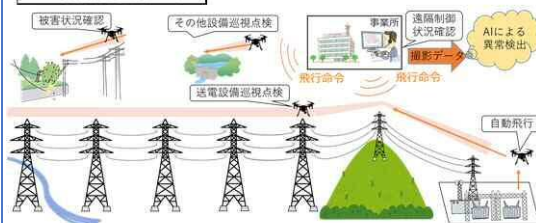
中部電力株式会社、中部電力パワーグリッド株式会社

■背景・目的

【背景】

ドローン技術の進歩により、鉄塔や電柱に代表される電力設備の巡視・点検など、当社の中でも様々な部門・用途を対象にドローンの活用検討が進んでいる。その活用の最終形態として、事業所等からの遠隔指令により変電所等に置いたドローンを飛行させ、現地の映像を取得する、「自動巡視点検」を目指している。

■ 目指す姿イメージ



【目的】

自動巡視点検の実現へ向けては、目視外飛行が必要不可欠であるため、目視外飛行のノウハウや運用に向けた課題を整理するため実証実験を行っている。

■概要

これまで、①・②で2度の補助者無し目視外飛行（レベル3）実証実験を実施した。

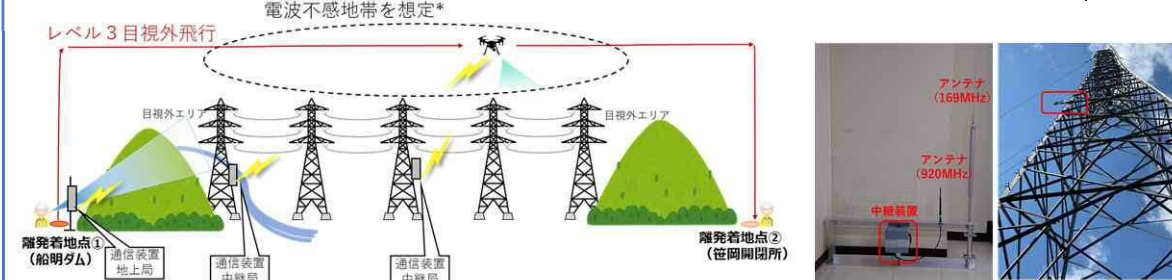
①同空域・複数機体同時目視外飛行（レベル3）【2021年10月実施】

■ 同空域・複数機同時運用時の課題を抽出



②電波不感地帯を想定した目視外飛行（レベル3）【2022年3月実施】

■ LTE電波不感地帯での目視外飛行実現方法策について検証（鉄塔通信中継）



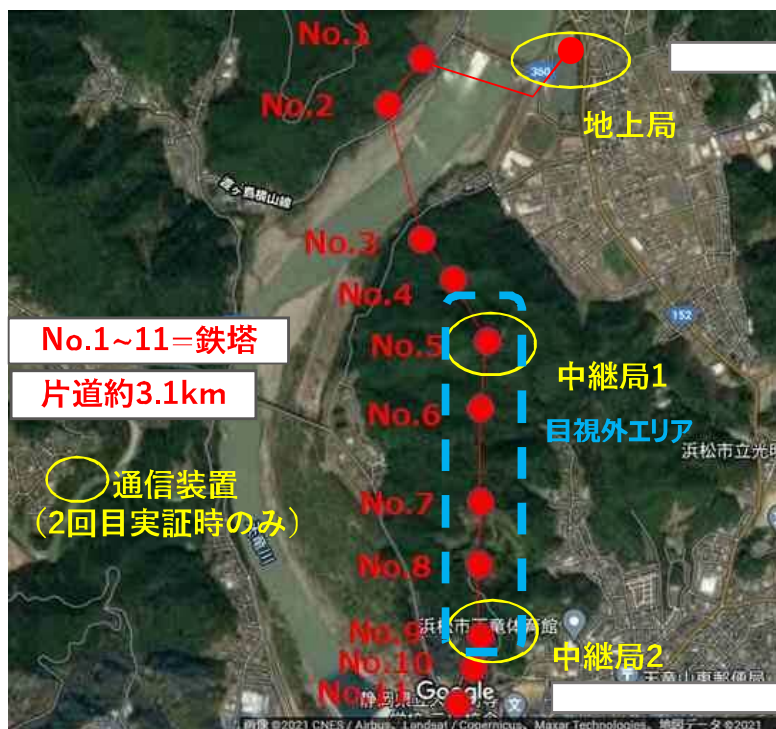
※今回は実験のため基本的にはLTE回線で常時通信、操縦を実施



鉄塔に設置した通信中継装置

【補足資料①】

- 日程 : ①2021年10月19,20日 ②2022年3月2,3日
- 検証場所 : 静岡県浜松市天竜区船明地区～二俣地区（2回とも同地点）



【補足資料②】

- 使用機体 : イームズロボティクス社 UAV-6106FLMP
(レベル3用にLTE通信機能を具備)



- 飛行方法 : ①LTE 1回線による映像・コマンド通信による自動飛行
②LTE 2回線 (複数キャリア) 映像・コマンド
+ 169MHz・920MHzコマンド通信 (実験用) による自動飛行

株式会社トラジェクトリー

災害発生時における官民連携モデルの構築に向けた 春野実証実験について

2022.1.30

災害発生時における官民連携モデル（豊川、新城、浜松、裾野、加賀）

ドローンを利用した高精度3D地図及び航路整備



ドローンを利用した災害時情報収集システム





被害状況把握・物流実証実験

- 離陸地点① 春野協働センター
- 離陸地点② 浜松市立春野図書館

状況把握① 春野協働センター

春野協働センターの近くにある気田川を架ける橋が土砂災害における川の氾濫により崩落した場合を想定し状況把握を行う。

状況把握② 国道沿線

春野町宮川で唯一の生活道路国道362号、473号が土砂崩れにより使用できなくなった場合を想定し状況把握を行う。

物資輸送 春野協働センターから浜松市立春野図書館

状況把握①で、通行止めを確認し、孤立エリアへ医薬品の配送を行う。

※送電線の高度は80m

(送電線を通過する際は±30mの離隔をとる)



利用機体



グリーンヒル（物流機）

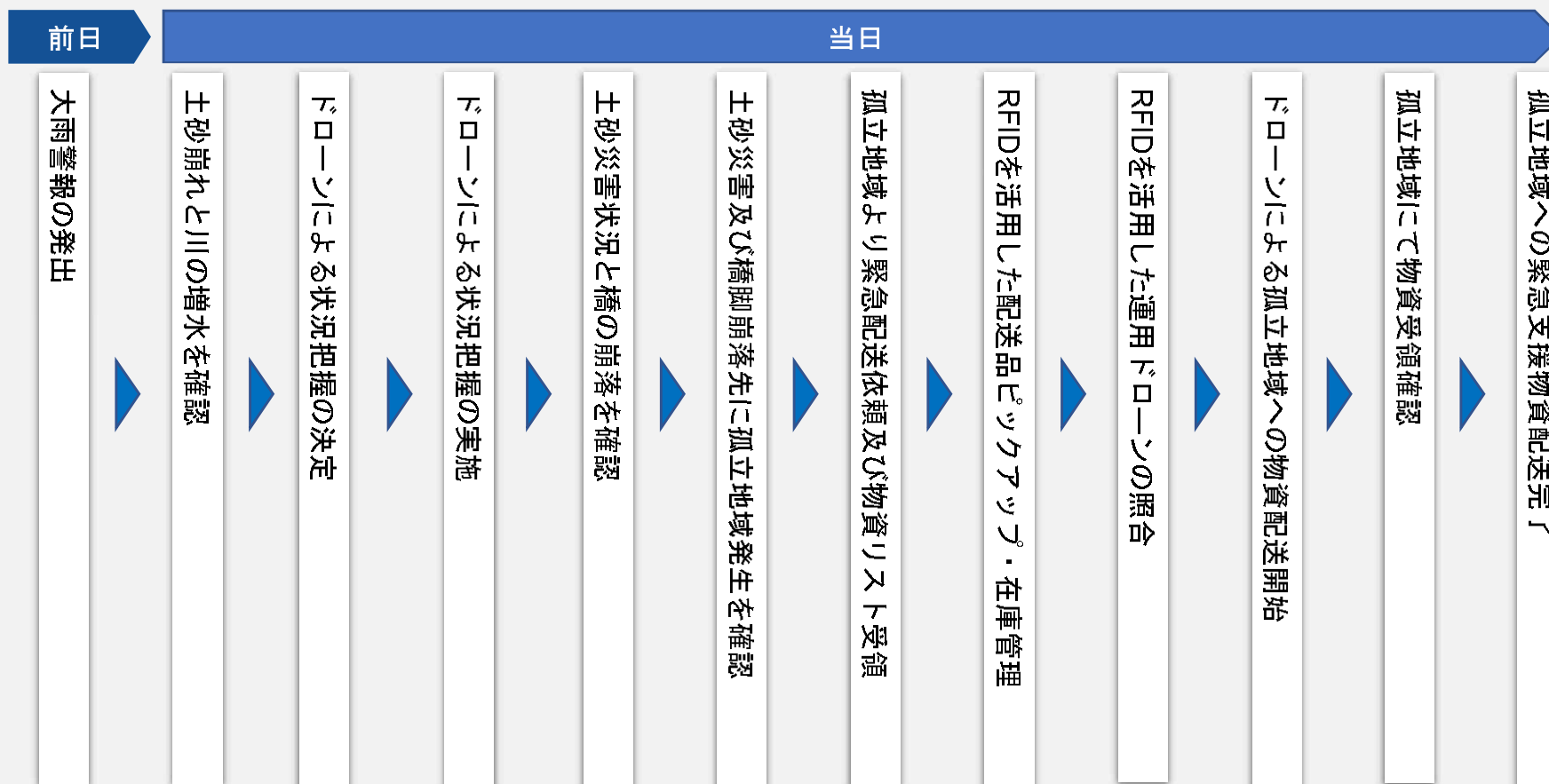
サイズ	縦730mm・横730mm・高さ240mm
重量	4.5kg
バッテリー	6cell Lipobattery 16000mah
通信	テレメトリ及び映像伝送:4G LTE回線(docomo)、操縦:2.4Ghz (Futaba R3008SB)
映像	LTE:960*720 6p (3~5秒遅延) 内部収録:4k 30p(GoPro HERO5)
飛行時間	離陸重量6.5kg時22分 (30%残し)
ペイロード	3.5kg
最大重量	10kg
Boxサイズ	内寸 縦190mm 横150mm 高さ94mm

ANAFI（状況把握）

サイズ	縦175mm・横240mm・高さ65mm
重量	320g(バッテリー込)
バッテリー	6cell Lipobattery 16000mah
通信	通信距離4km(コントローラー使用時) 操縦:2.4Ghz
映像	LTE:960*720 6p (3~5秒遅延) 内部収録:4k 30p(GoPro HERO5)
飛行時間	25分
ペイロード	-
最大重量	-

本事業の実証の流れ

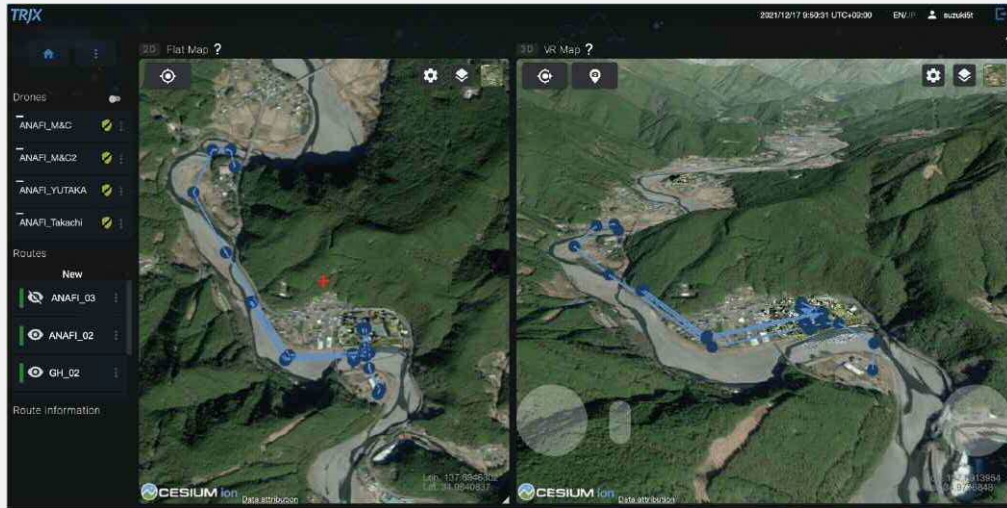
前日の大雨警報における土砂災害によって川、さらに国道362号437号の道路脇より土砂災害が起こり孤立地域発生。
ドローンで被害状況を確認後、緊急救援物資を配送する。



ドローン管制プラットフォームで自律航行する複数のドローンを安全に管理

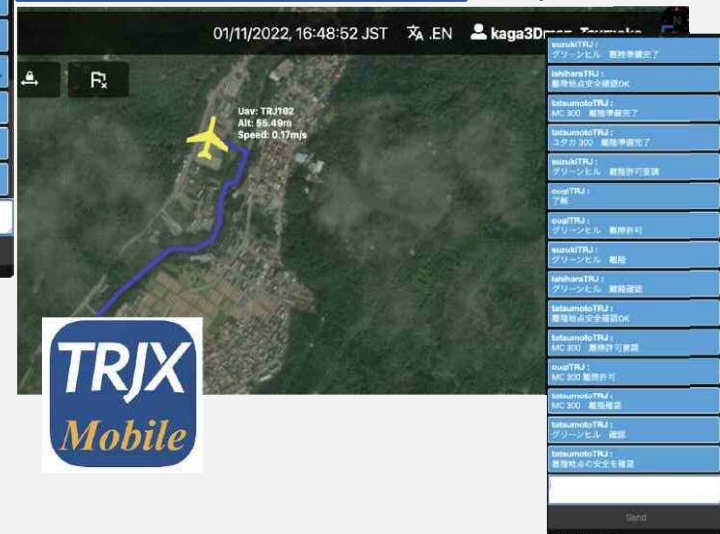
長崎県対馬市のTRJCC (Trajectory control center) と、春野町のフィールドのチームメンバは専用アプリケーションTRJX Mobileを用いて連携し、ドローンの位置や残バッテリー、オペレーションの進行状況など情報共有を行います。

管制チーム
(対馬コントロールセンター)



情報共有

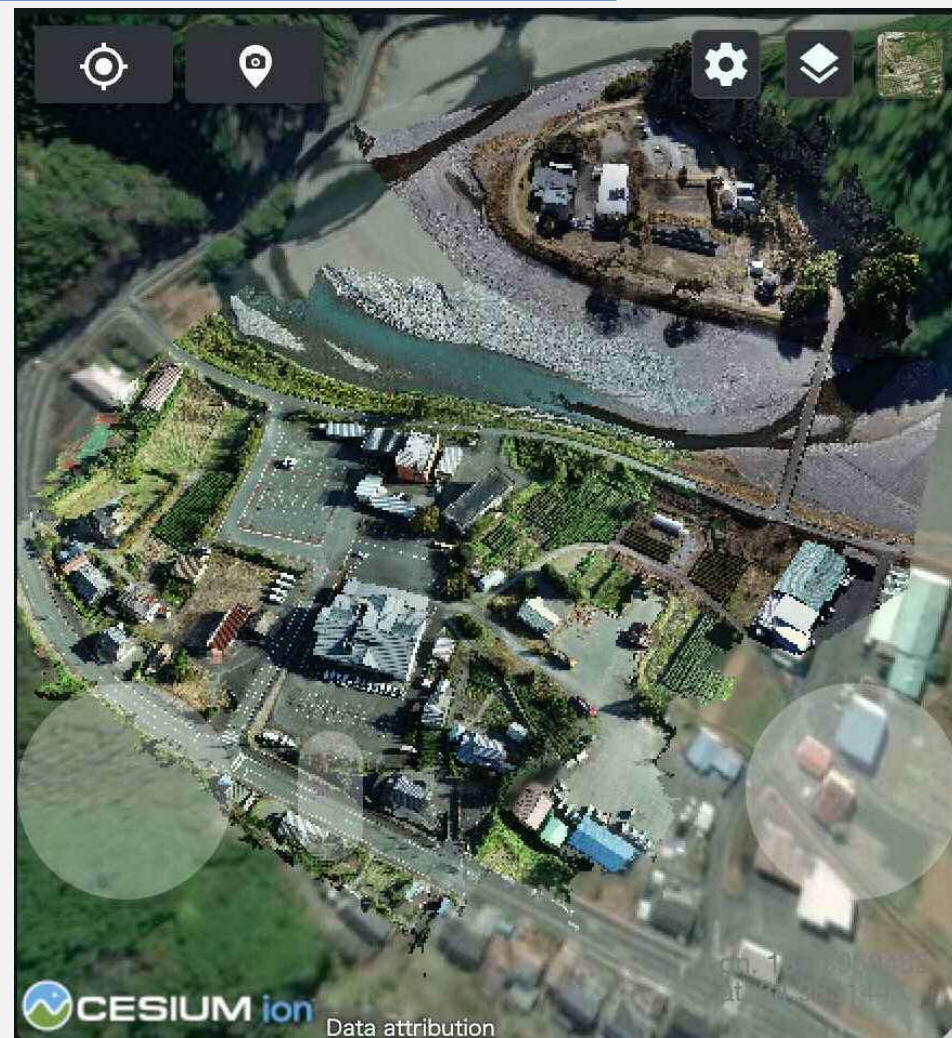
春野町のフィールド
チームのメンバー



3D地図 空撮範囲

3D撮影範囲

番号	撮影範囲	面積
1	浜松市立春野図書館	40,206㎡





被害状況把握・物流実証実験

- 離陸地点① 春野協働センター
離陸地点② 浜松市立春野図書館

状況把握① 春野協働センター

春野協働センターの近くにある気田川を架ける橋が土砂災害における川の氾濫により崩落した場合を想定し状況把握を行う。

状況把握② 国道沿線

春野町宮川で唯一の生活道路国道362号、473号が土砂崩れにより使用できなくなった場合を想定し状況把握を行う。

物資輸送 春野協働センターから浜松市立春野図書館

状況把握①で、通行止めを確認し、孤立エリアへ医薬品の配送を行う。

※送電線の高度は80m

(送電線を通過する際は±30mの離隔をとる)



被害認定に係る実証実験について（事前撮影）

春野図書館の被害認定を行う想定で下記の写真を撮影する

- ① 真上からの俯瞰写真（100m程度）
- ② 真上からの俯瞰写真（30m程度）
- ③ 図書館北側壁面のズーム写真



被害認定に係る実証実験について（事前撮影）

市所有のGISへドローンによる空撮画像が反映可能か実証を行う。発災直後のドローン画像を基に、ArcGISを使用し、調査ゾーンを確定する。



＜撮影画像＞

- ・被災箇所全域の撮影画像の活用
- ・被害の程度の違いにより、ピンポイントの撮影画像の活用



・実証実験では、発災後の写真と仮定し、ドローンによりP8空撮予定範囲上空の（仮）被災エリアと各判定ポイントズームを撮影する。

※発災直後の画像はイメージ画像として、倉敷市真備町の画像を使用しております。

※平時の航空写真は、浜松市で所有している航空写真を使用することを想定しています。

離発着地点

春野協働センター



春野生涯学習公園



実証実験の様子





実証実験の様子



実証実験の様子



交通事故データを活用した 安全運転支援ソリューション 実証実験について

2022年3月16日

損害保険ジャパン株式会社

本日のテーマ



2022年1月18日
損害保険ジャパン株式会社
株式会社電脳交通
第一交通産業株式会社

安全運転支援ソリューションに関する実証実験を開始 【国内初】交通事故データとクラウド型タクシー配車システムを連携 ～交通事故の防止による安心・安全なモビリティ社会の実現に向けて～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）、株式会社電脳交通（代表取締役：近藤 洋祐、以下「電脳交通」）、第一交通産業株式会社（代表取締役社長：田中 亮一郎、以下「第一交通」）は、損保ジャパンが保有する交通事故データと、電脳交通が提供するクラウド型タクシー配車システムを連携させた新たな安全運転支援ソリューションを、第一交通グループのタクシー車両に導入し、交通事故防止の効果等を検証する実証実験を2022年1月13日から共同で開始しました。

なお、交通事故データをタクシー配車システムに連携する実証実験は国内初*となります。

* 損保ジャパン、電脳交通、第一交通調べ。

(損保ジャパン ニュースリリース)

損保ジャパン、タクシーの安全運転支援 事故データ提供

金融機器 + フォローする
2022年1月17日 16:30 [有料会員限定]

保存

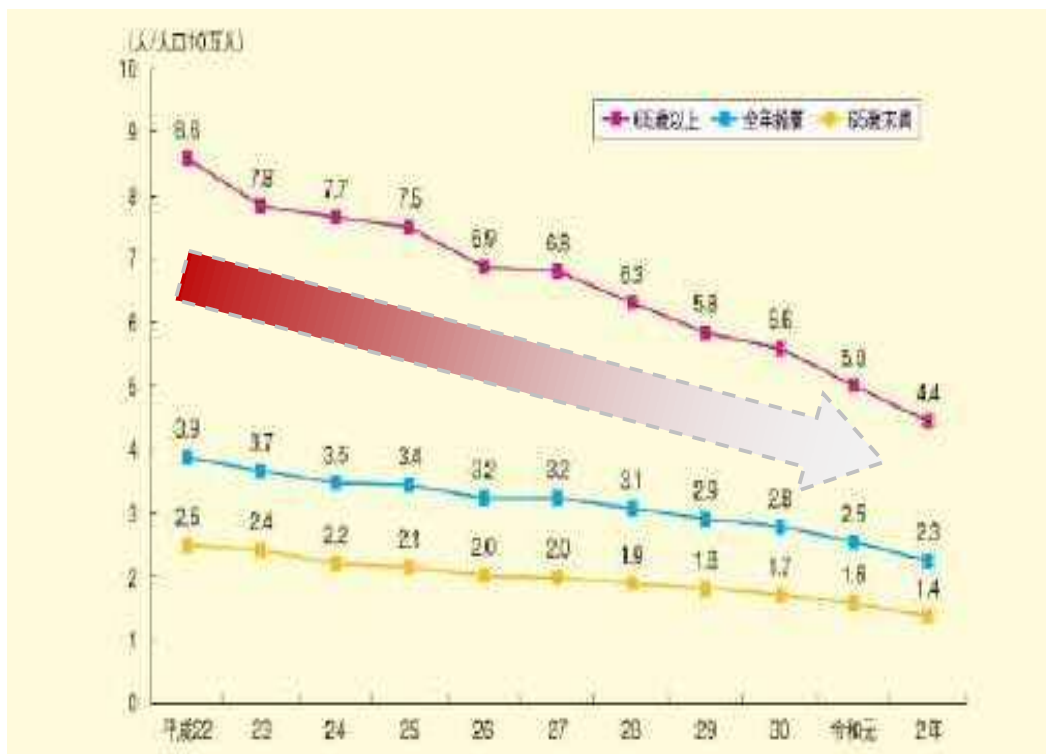


損保ジャパンは事故データを外部企業に提供し、安全運転を指南する仕組みを作る

(日本経済新聞社)

取組みの背景

▼年齢層別人口10万人あたりの交通事故死者数の推移



出典：令和3年度交通安全白書

交通事故死者数は、年々減少傾向

しかし…

事故の根本解決には至っていない…

悲惨な交通事故は後を絶たず…

安全運転に対する社会的要請は
より一層高まっている！







取組みの背景

池袋暴走事故、禁錮5年の実刑判決 元院長に東京地裁

事件・司法 [+ フォローする](#)

2021年9月2日 14:02 (2021年9月2日 19:48更新)

 保存

Think! 多様な観点からニュースを考える

石塚由紀夫さんの投稿 



事故現場を調べる警視庁の捜査員ら (2019年4月、東京都豊島区)

(日本経済新聞社)

「トラック多い道」千葉の事故現場騒然 過去にも事故

社会・くらし

2021年6月28日 18:16 (2021年6月28日 21:02更新)

 保存



下校中の小学生の列にトラックが突っ込んだ事故現場 (28日午後5時29分、千葉県八街市) =共同

(日本経済新聞社)

取組みの背景



交通事故ビッグデータ
(2,000万人のお客さま)



電脳文通

MaaSソリューション
(タクシー配車システム)



事故の無い社会の実現に貢献したい

実証実験における各社の役割

会社名	役割
 損保ジャパン	実証実験の企画・総括 交通事故データの提供、効果検証
電脳文通	交通事故データを連携した クラウド型タクシー配車システムの開発
 第一交通産業 	タクシー車両の運行、ドライバーの協力

実証実験の3社連携イメージ

<交通事故データ連携イメージ>

緯度	経度	事故態様
XX	YY	交差点追突 (物損事故)
XXX	YYY	出会い頭事故 (人身事故)

損保ジャパン
SOMPO
交通事故データ

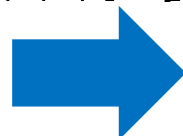
数百万件
(過去5年)



電脳交通
配車システム

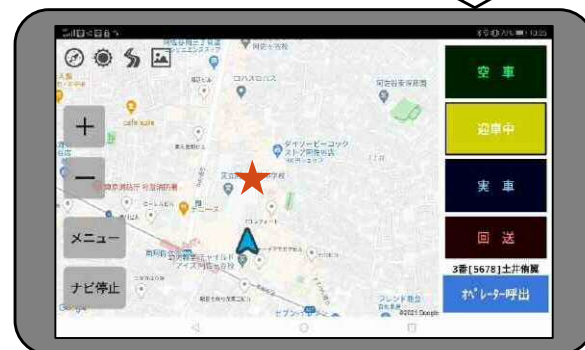
クラウド型
柔軟な対応

配車タブレットの
マップ内に表示



▼音声でドライバーに注意喚起 (複数パターン)

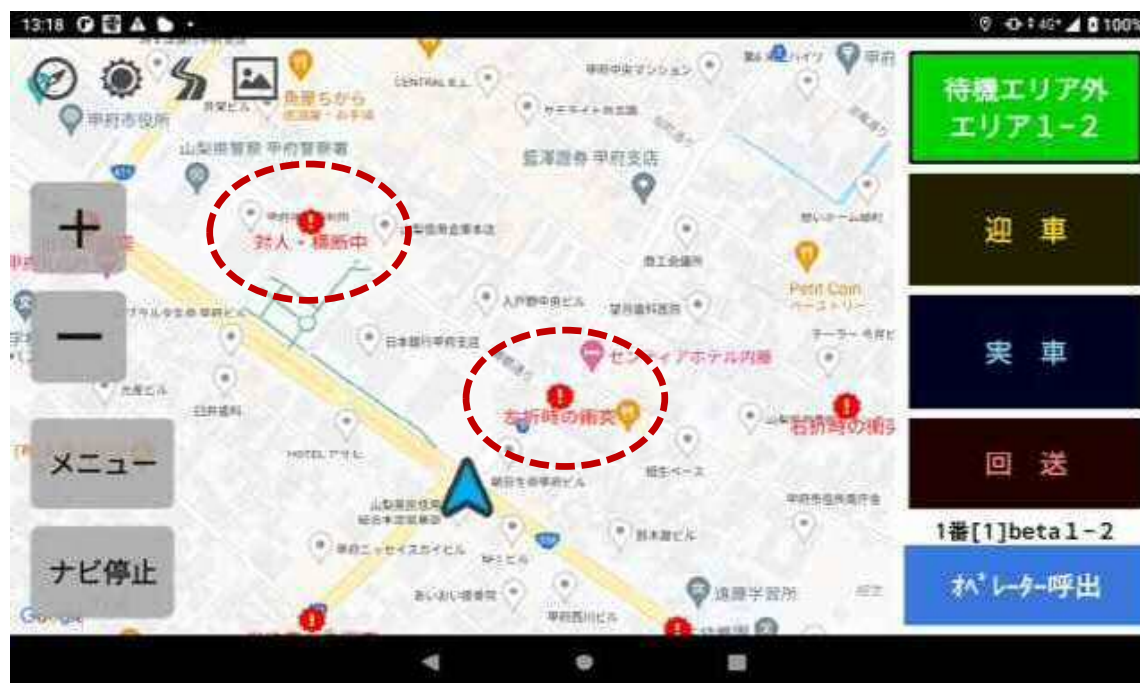
(例) 「この先、事故多発地点があります」



ドライバーの
安全意識向上



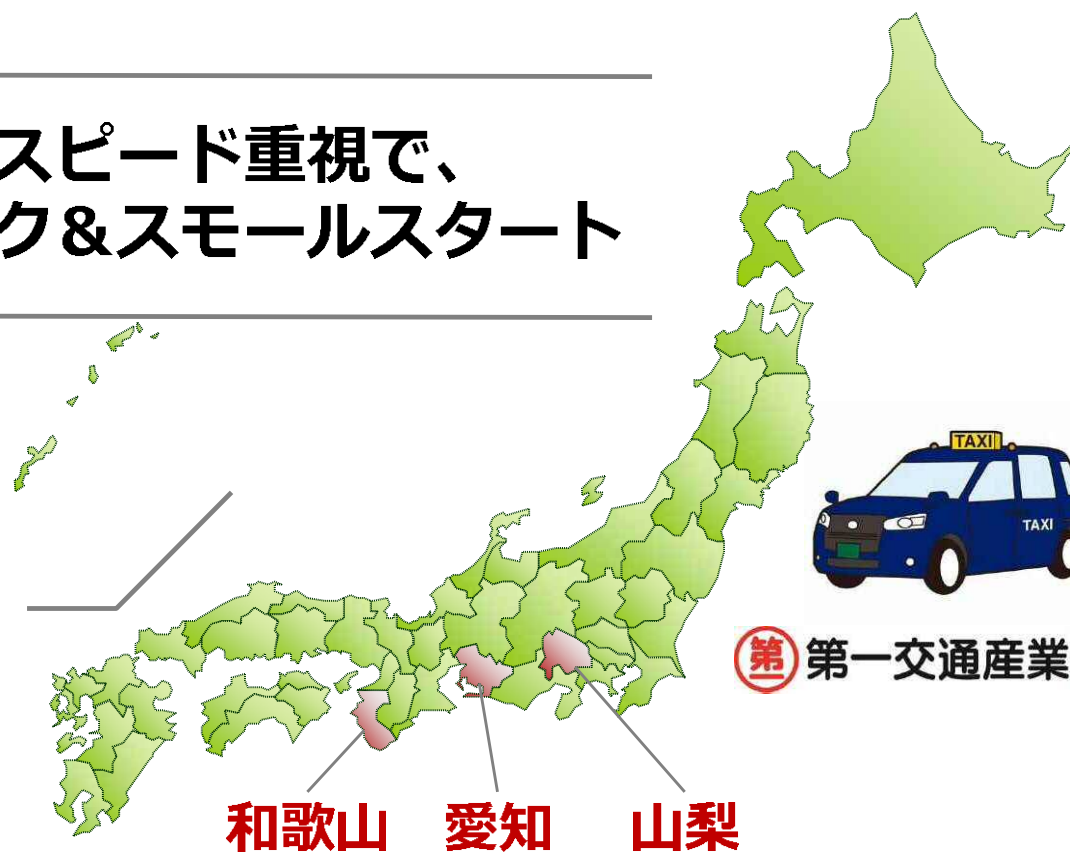
タクシー配車システムの実装イメージ



- 事故の場所だけではなく「出会い頭」「追突」など事故が起きたシチュエーションも把握可能。
- 事故多発地点に近づいた際にドライバーに注意喚起を促すアラート音も、慣れを防ぐために適宜仕様を変更予定。

実証対象地域

まずはスピード重視で、
クイック&スモールスタート



第一交通産業 DAIICHI

約500台



実証実験に対する現場の声（開始1か月時点）



- ☞ 安全運転の**意識向上**に繋がっている
- ☞ 会社への**エンゲージメント**も高まっている
- ☞ 安全面で**地域貢献**に繋がる
- ☞ アラート音の**バリエーション**

etc...

今後の展望

**本実証実験の結果を踏まえ、以下検討を進めていき、
「事故の無い社会」の実現を目指します。**

- 👉 運送業（トラック）への横展開
- 👉 自動車保険との連動
- 👉 ドライバーの行動変容を促す
安全運転支援ソリューションの開発
- 👉 自動運転領域での事故データ活用

etc...

ご清聴ありがとうございました。

Carstay ご説明資料

-浜松市モビリティサービスコンソーシアム-



Stay Anywhere, Anytime.



2022年3月16日
Carstay株式会社

1 会社について：概要



会社名	Carstay株式会社
所在地	【横浜】〒221-0822 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川1-6-15 サクラビル502号室 【浜松】〒430-0907 静岡県浜松市中区高林1丁目8-4 3 The Garage内（登記準備中）
代表取締役	宮下 晃樹 / Koki Miyashita
設立年月日	2018年6月1日
事業内容	キャンピングカー&車中泊スポット予約アプリ「Carstay」
資本金	124,943,751円
主要取引銀行	日本政策金融公庫・三井住友銀行・みずほ銀行・りそな銀行・きらぼし銀行・楽天銀行
自家用自動車有償貸渡業 許可番号	神奈川運輸支局 第912号

1 会社について：オフィス



Yokohama

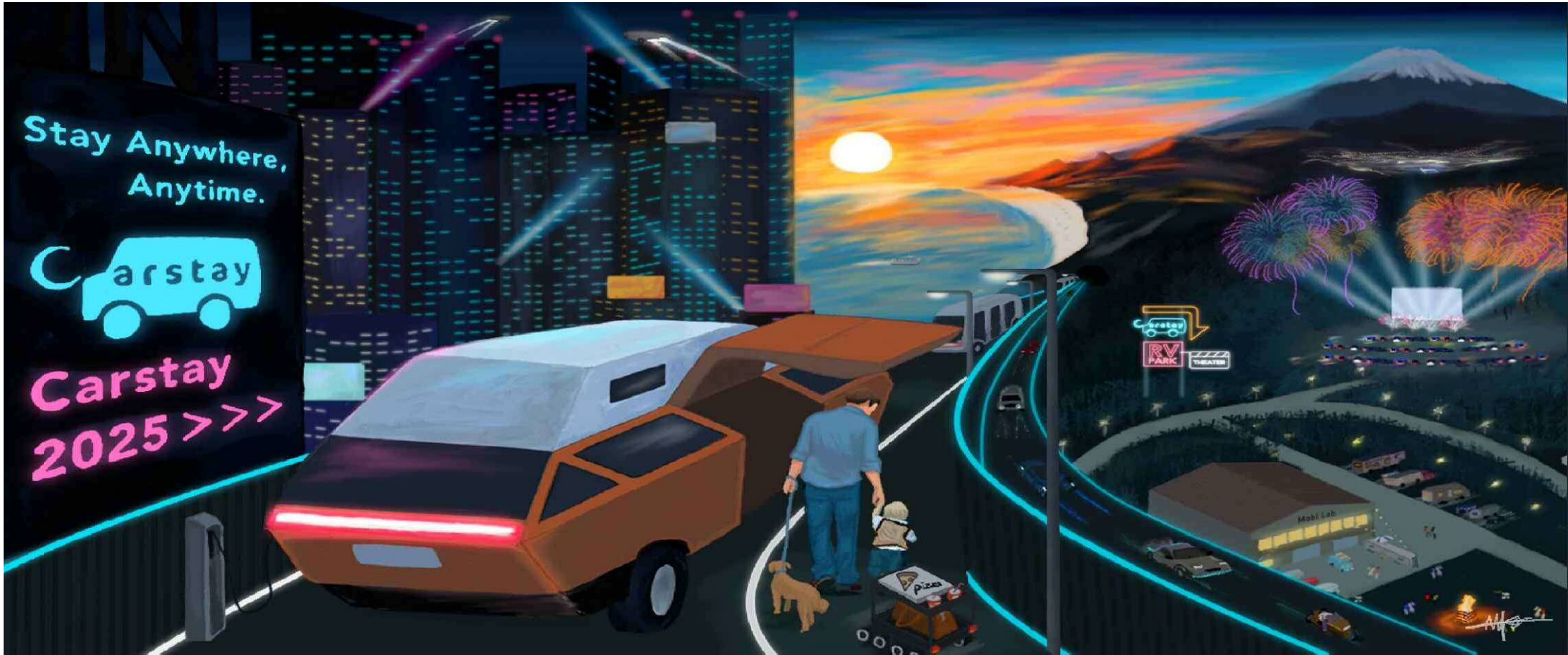
2021/5~

Hamamatsu

2022/2~



1 会社について：ミッション



Stay Anywhere, Anytime.

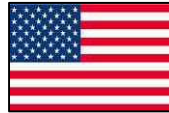
誰もが好きなときに、好きな場所で、好きな人と過ごせる世界をつくる。

1 組織について：少数精鋭のスタートアップ



エンジニア・デザイナー中心のフルタイムメンバー**10名規模のスタートアップ企業**です
年齢・性別・国籍・居住地・働き方などの多様性を互いに尊重することを大切にしています

1 組織について：CEO略歴



CEO | 代表取締役 宮下 晃樹

1992年生まれ。ロシア出身。アメリカ留学・バックパック後、2014年慶應義塾大学経済学部卒業。20歳で公認会計士試験合格。2014年 Deloitte Japan に入社し、IPO支援業務に従事。2016年6月退職・独立し、NPO法人SAMURAI MEETUPSを創業、Aribnbに登録し、累計1200人の訪日外国人をガイドし、成田国際空港・小田急と提携しながら、地域のインバウンド誘致に取り組む。その中で、地域観光の課題は、2次交通の未整備・宿不足であると実感。そこで、2018年6月にCarstay株式会社を起業し、“誰もが好きなときに、好きな場所で、好きな人と過ごせる世界をつくる”をミッションに事業化。場所と時間に囚われない、新しい豊かな旅と暮らし“VANLIFE”スタートアップとして、クルマ版Airbnb「Carstay（カーステイ）」をリリース。5G・EV・自動運転時代に向けて、“動くホテル”・“動くオフィス”・“動く家”などのMaaSプラットフォームを提供し、キャンピングカー・車中泊のマーケットプレイスを創造、「移動」「滞在」「防災」にかかる社会問題の解決を目指す。

1 組織について：リーダー略歴



CPO | 最高製品責任者 牧野 友里菜

1992年生まれ。大学時代にアメリカ留学、ベトナムでのインターンシップ経験を経て、新卒でパーソルキャリア株式会社に入社。人材紹介の法人営業担当として、顧客の採用活動を支援。約2年半勤務した後、エンジニアに転身。株式会社メイプルシステムズにて自社開発・SES事業に従事した後、2020年4月からCarstay株式会社に2番目の正社員として参画。フルスタックエンジニアとして、日々学習しながら、フロントエンド・バックエンド・アプリ開発を幅広く担当し、2021年6月からPdM（プロダクトマネージャー）に就任。2022年2月からはCPOになり、経営陣の一員として会社経営に携わる。



Sales Manager | 営業責任者 野瀬 勇一郎

1968年生まれ。学生時代は南米コロンビアで過ごし、帰国後はテレビディレクター・メディア企画職を歴任。株式会社日宣にて、国内最大のキャンピングカーイベント「ジャパンキャンピングカーショー」を主催し、市場拡大・文化啓蒙に貢献。その後、株式会社イノベントにて、カートラベル推進協会を立ち上げ、CEO宮下と出会う。2020年に独立し、株式会社CarLife Japanを起業。キャンピングカーを医療従事者の休憩所として、コロナ支援を行う「バンシェルター」プロジェクトをCarstayと共同運営。2021年3月から、Carstay株式会社に参画し、Sales Manager（営業責任者）に就任、営業活動全般を統括。



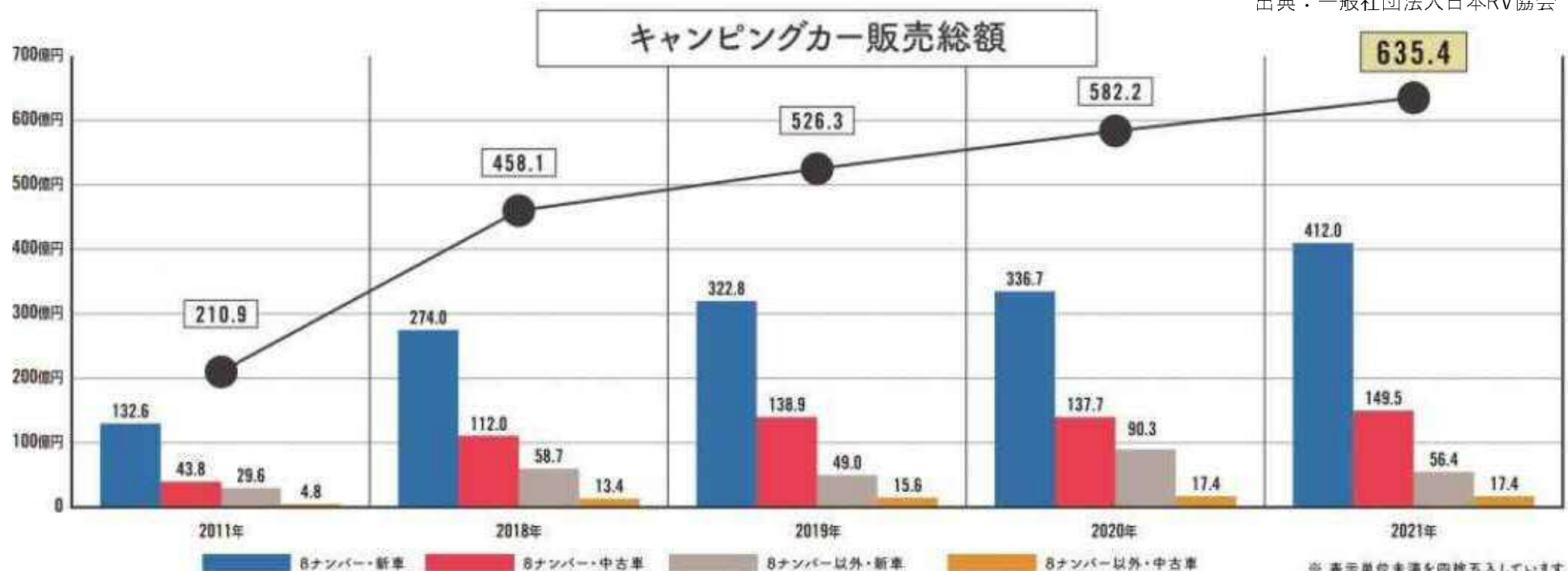
カスタマーサクセス責任者 向田 涼哉

1994年生まれ。広島県出身。1年間のオーストラリアへのワーキングホリデーを経て、現地でのサーフカルチャーやヒッピーカルチャーの影響を受け、バンライフに興味を持つ。帰国後、老舗キャンピングカービルダーの株式会社アネックスに入社し、技術者として、キャンピングカーブランド「RIW」の企画・開発・プロモーションなどに携わる。その後、より多くの人にバンライフ文化を広めたいという思いから、2021年6月より、Carstay株式会社に参画し、CS（カスタマーサクセス）リーダーに就任。メルマガ・SNS・アプリ通知などのWebマーケティング全般を担当。

2 市場について：コロナ禍で急拡大

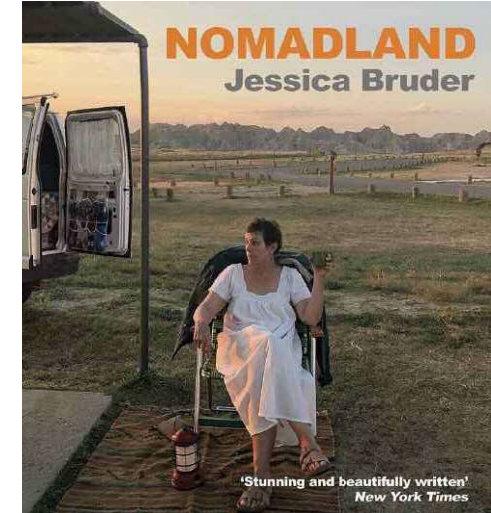
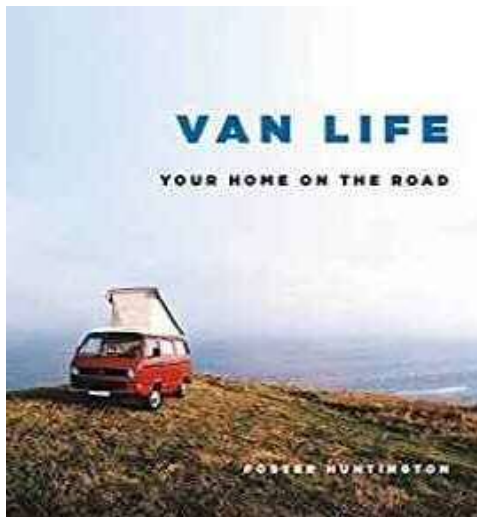


出典：一般社団法人日本RV協会



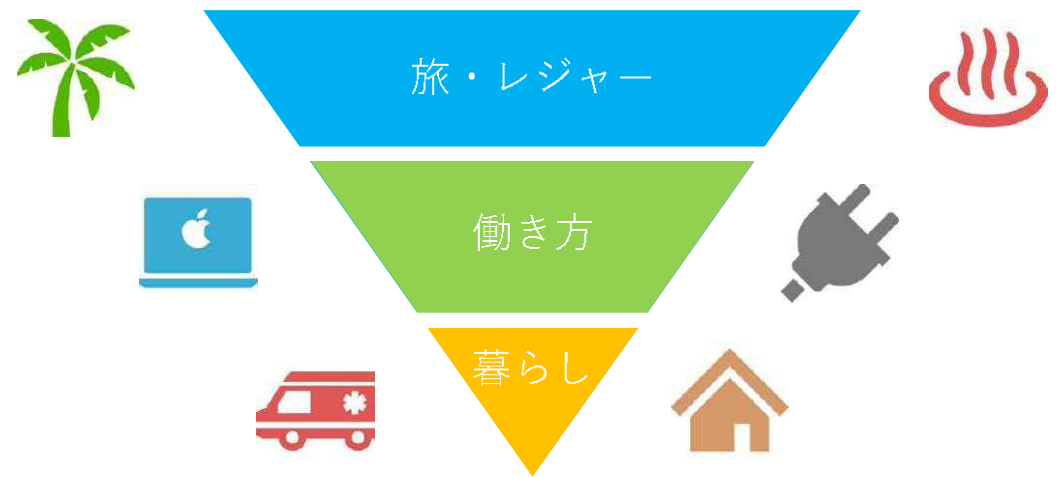
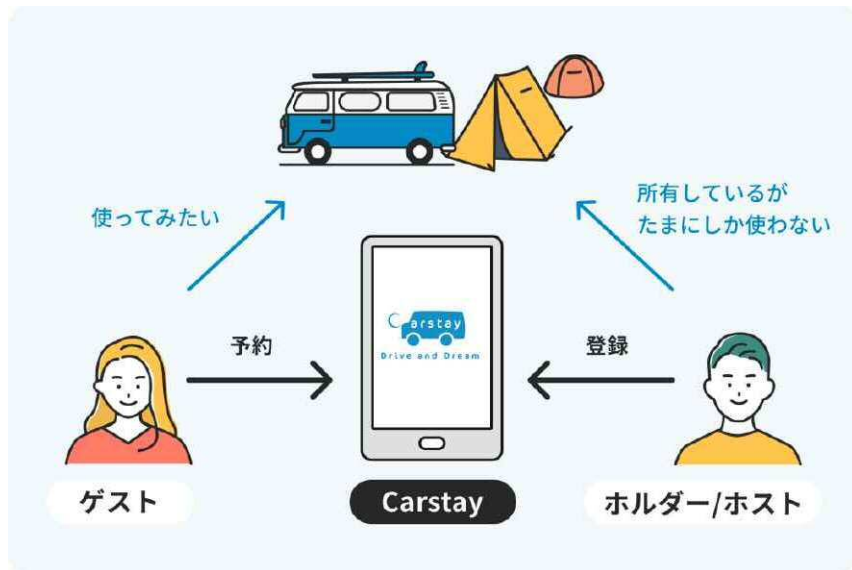
キャンピングカー市場は10年間で3倍になり、密を避けて旅できることからコロナ禍でさらに市場拡大中です。新車販売は納車1~2年待ちとなり、需要過多の状態です。日本全国には13万台のキャンピングカーが存在します

2 市場について：バンライフ文化の広まり



さらに、「VAN LIFE (バンライフ)」と呼ばれる、キャンピングカーのみならず、箱型の車「VAN」を“動く拠点”として、旅・仕事・暮らしを楽しむ文化が、SNSを通じて世界的なムーブメントになっています

2 事業について：バンライフのプラットフォーム



現在、「バンライフ」を体験したいが、情報や機会がない人に対して、シェアリング事業を展開しています
日本初のキャンピングカーのシェアリング事業を核とし、旅 → 働き方 → 暮らしの充実を目指します

3 製品について：シェアサービス概要



日本全国のキャンピングカーを検索・予約可能

国内外の車中泊可能なバン・キャンピングカーを200台以上掲載しています。



日本全国 250 台

日本全国の車中泊スポットを検索・予約可能

国内のRVパークやキャンプ場など車中泊可能な場所を300か所以上掲載しています。



日本全国 340 か所

評価とレビュー

4.8 / 5

42件の評価



★★★★★

mokomokoneko, 2020/11/12

キャンピングカーと車中泊スポット両方予約できるのが、キャンピングカーに乗ってみたい、と予約した。 [さらに見る](#)

デベロッパの回答。
Carstay運営事務局です。レビューを投稿した。 [さらに見る](#)

★★★★★

SONO(その), 2020/11/28

サクサク軽くて使いやすいデザイン
Carstay はキャンピングカーやバンを借りたい人、車中泊スポットを簡単に探して予約したい人におすすめです。モバイルアプリはWebブラウザと比べてさらに使いやすい。動作が軽くてボタン配置やコンテンツのレイアウト。 [さらに見る](#)

★★★★★

tglwdj, 2020/11/28

vanlifeのはじめの一歩
バンライフしてみたいけど、どうしたらいいの？
バン、キャンピングカー借りたいけど、お試したい人におすすめ！ [さらに見る](#)

[すべて見る](#)



<https://apps.apple.com/jp/app/id1531721547?l=ja>



<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.carstay.android&hl=ja>

「Carstay」は日本で唯一、キャンピングカーと車中泊スポットを予約することができるスマホアプリです。乗らない期間に遊休車両をシェアしたいオーナー、空き地を有効活用したい駐車場オーナーが登録しています。

3 製品について：移動・滞在・体験を一括予約



移動



滞在



体験



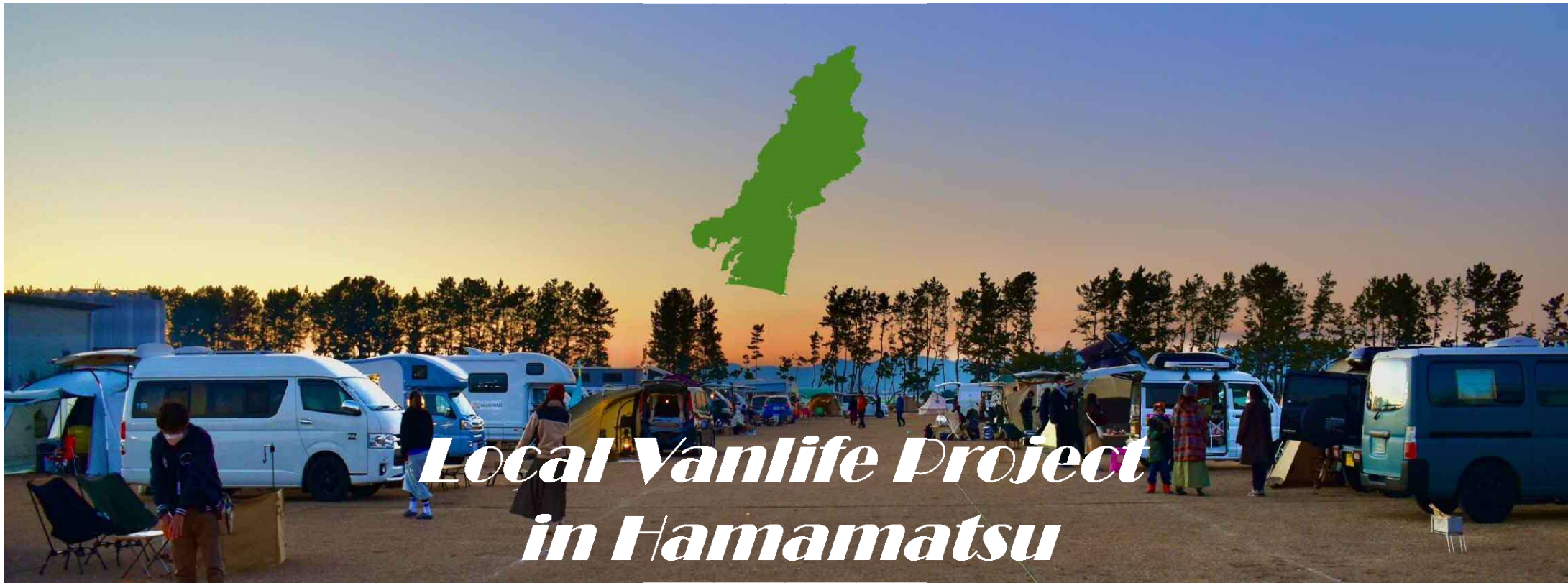
「Carstay」が提供するUX(User Experience)は、「簡単に移動・滞在・体験をまとめて予約できること」です
ユーザーインタビューやアンケート分析を通じて、顧客が言語化できないが真に求めている体験を提供し続けます

3 顧客について：ターゲット

ペルソナ名	旅好き女子（ゲスト）	キャンプ好きのお父さん（ホルダー）
ボリューム	130万人	70万人
イメージ		
属性	女性 / 25~35歳 / 都心在住	男性 / 45~59歳 / 郊外在住
趣味	パートナーや友達と休日に旅行によく出かける アウトドア初心者だけど誰かと一緒にやるのは好き	キャンピングカーを保有している。平日休日問わず、よく家族やペットとキャンプに出かけることが多い
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルの旅を楽しみたい、助手席で休日を満喫したい ・コロナ禍でも出掛けたい、SNS映えした写真を撮りたい ・“バンライフ”に興味あり、未知を体験するのが大好き 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンピングカー旅の楽しさを多くの人に広めたい ・他のキャンピングカーオーナーと繋がりたい ・年間340日は車を使わないので貸したい（補償は不安）
ペイン	<ul style="list-style-type: none"> ・バンライフの楽しみ方がわからない、車を運転できない ・特別な体験をしてみたいが、手間をかけたくない 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持費を軽減したい、新車の買替資金が欲しい ・車中泊をするにもグレーゾーンの場所しかない
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・ホルダーがコンシェルジュとしてバンライフ体験を提供 ・焚き火、サウナ、SUPなどアクティビティもセット提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛車を安心安全にシェアして、副収入を得られる ・ゲストのコンシェルジュとして楽しみ方を伝えられる

カーシェア事業は、「旅好き女子」と「キャンプ好きのお父さん」をマッチングしています
ホルダーがゲストのコンシェルジュになることで、キャンピングカー初心者のペインを解消しています

4 プロジェクト概要：目的



浜松市内に拠点を置き、市内の民間事業者との連携を通じて、バンライフのプラットフォーム事業を広げ、
①観光消費拡大 ②ワーケーション促進による企業誘致 ③防災インフラ整備含む暮らしの充実 を促進します

6 今後の展望：サマリ

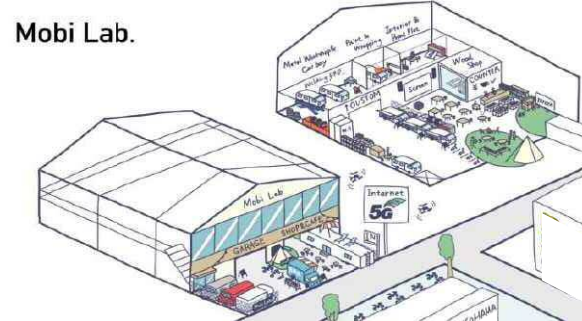
旅・レジャー

シェアリングサービスを通じた
旅行者の誘致による観光振興



働き方

テレワークパークのPRおよび
Mobi Lab.の立ち上げ



暮らし

防災インフラとしての車両整備と
ライドシェア事業の実証実験





Carstay
Stay Anywhere, Anytime.

5 アイデアピッチ開催報告

5

日時：1月25日（火） 13:15-16:30

会場：オンライン（Zoom）

No.	発表企業	提案タイトル
1	イーデザイン損害保険（株）	マイレージアプリ「ノルク」を活用した 浜松市民の移動寿命の延伸
2	（株）フジEAPセンター	キャンピングカーを活用した移動保健室 ヘルスケアMaaS事業の挑戦
3	凸版印刷（株）	ポイント連携可能な地域通貨サービス 「やらまいかPay」
4	東京海上日動火災保険（株） ・パーク24(株)	空きスペースの利活用による持続可能な まちづくり

※発表順

参加会員：13社／20名

（ほか共同幹事や講評者、浜松市の関係課が参加）

5 アイデアピッチ開催報告

新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、当日は完全オンラインで実施。

イーデザイン損害保険(株)



(株)フジEAPセンター

凸版印刷(株)

東京海上日動火災保険(株)・パーク24(株)

講評者



浜松市長



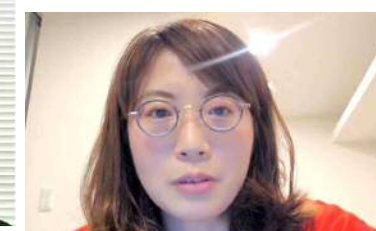
浜松市F10 東氏



遠州鉄道(株) 野村氏



スズキ(株) 熊瀧氏



比レティジャーナリスト 楠田氏

5 アイデアピッチ開催報告

◆参加者内訳

種別	企業名等	人数
共同幹事	遠州鉄道(株)	2
	スズキ(株)	3
発表者	イーデザイン損害保険(株)	1
	フジEAP(株)	1
	凸版印刷(株)	3
	東京海上日動火災保険(株)・パーク24(株)	5

種別	企業名等	人数
観覧者	東武トップツアーズ(株) 浜松支店	1
	(株)中村組	1
	(株)エフ・シー・シー	1
	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	1
	(株)ゼンリンデータコム	1
	伊藤忠テクノソリューションズ(株)	1
	静岡県浜松土木事務所	1
	岩城則義氏	1
講評者	損害保険ジャパン(株)	2
	浜松市長 鈴木康友	-
	浜松市フェロー 東博暢氏	-
	遠州鉄道(株) 取締役 野村和徳氏	-
	スズキ(株)次世代モビリティサービス本部 本部長 熊瀧潤也氏	-
モビリティジャーナリスト 楠田悦子氏	-	
事務局	(株)博報堂	8
	浜松市	11

6 令和4年度の取組予定

項目	2022年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
I デジタル・スマートシティ	官民連携PF運営委員会会員との連携		●第1回運営委員会			●第2回運営委員会			●第3回運営委員会			●第4回運営委員会	
		データ連携基盤利活用促進部会設置●		【新規】学校への会員派遣制度の創設									
	官民連携PFピッチ・ウェビナー				●ソリューションピッチⅠ				●ソリューションピッチⅡ				
				●ウェビナーⅠ			●ウェビナーⅡ			●ウェビナーⅢ		●ウェビナーⅣ	
	データ連携基盤整備・運用	データ連携基盤（本番環境）の整備・運用											
	データ連携基盤活用モデル創出	募集		●ワークショップ	ユースケースの組成	事業化に向けた調査・検証							成果発表会▲
	MONTH事業			冠事業募集	選定	周知	マンス	●オンラインフォーラム					
	【新規】デジタル地域通貨研究事業	ニーズ把握・事業整理			事例調査等	結果取りまとめ							
【新規】デジタル技術活用支援事業					支援人材の育成		地域に密着した相談体制の構築・運用						
庁内連携		★第1回本部会議 ★第1回WG				★第2回本部会議 ★第2回WG			★第3回WG		★第3回本部会議 ★第4回WG		
II MaaS	モビリティサービス推進コンソーシアム		●第1回会議 ●ドローンに関する意見交換会	●セミナー ●第2回会議		●アイデアプレスト ●第3回会議			●第4回会議		●第5回会議 ●ドローンに関する意見交換会		
	共助型地域交通等推進モデル事業	①中山間地域（モデル地区：春野）、②都市部（モデル地区：庄内他※今後調整）における地元・交通事業者との調整等											

6 令和4年度の取組予定

項目		2022年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Ⅲ デジタル・ガバメント	【新規】DX推進計画	計画案検討					計画施行						
	協働センター等Wi-Fi運用	Wi-Fi運用											
	ビジネスチャットツール導入	調達準備・ルール策定						運用開始					
	デジタル・ガバメント人材育成	行動規範検討				★行動規範制定							
		DX支援者制度検討						★制度開始					
	【新規】業務量全体調査					注力業務の改革				効果分析			
		★調査延長所属における調査① ★調査延長所属における調査② ★調査延長所属における調査③											
	【新規】※予定書かない窓口	視察・フロー把握等			フロー設計		システム構築			運用準備		運用開始	
	Web会議システム整備・運用	★更新 運用											
	AI等先進技術活用	RPAの活用											
実証実験サポート事業													
トップマネジメント	トップマネジメント（市長・副市長による状況確認：3回程度/年）												
	★第1回PT		★第2回PT		★第3回PT		★第4回PT		★第5回PT		★第6回PT		
Ⅳ デジタル・マーケティング	相談支援	デジタル・マーケティング相談支援											
	人材育成					★ワークショップ				★ワークショップ			
共通	浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例	パブコメ	市の考え方公表	議会議決	★条例施行								
	出前講座	受講申し込みに応じて随時開催											

7 意見交換